

令和3年度 事業計画書

(2021年4月1日～2022年3月31日まで)

1. アーカイブ事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等に関する作品や資料の収集、保存及びその公開を行う。また、活動に関わる諸テーマについて、独自で調査、研究を実施すると共に、国内外機関・個人との共同研究等も行う。【定款 第4条(1)、(3)、(6)】

- ・ コレクション・データベースの精緻化と利用促進を図る。
- ・ ポスター高精細デジタル画像化は、将来的にポスターアーカイブの全作品のデータ化を目標に継続的に進める。
- ・ ポスターアーカイブは、寄贈希望のあった作家から、財団内で検討のうえ受け入れる。
- ・ 将来的にアーカイブセンターとして実現すべき機能・仕様を、ひきつづき実証・検討する。

(1) 田中一光アーカイブ

令和3年度は、前年にひきつづき、コレクション・データベースのメタデータの精緻化を進める。

(2) ポスターアーカイブ

国内外の現代グラフィックデザインの秀作を、次世代に文化資産として残すための収集活動を継続する。寄贈受け入れ予定作家は、上條喬久氏、和田誠氏等。現在、国内 120 作家、海外 117 作家、計 237 作家、21,062 作品を収蔵している。また、田中一光・永井一正・福田繁雄各アーカイブのポスター寄託品の他美術館への寄贈事業は、令和3年度も行う予定。

(3) タイラーグラフィックス・アーカイブ

タイラーグラフィックスのコレクションによる収蔵品展を、CCGAにて1回開催する。また、他館から要請があった場合は、作品貸出を行う。

(4) ポスター高精細デジタル画像化

撮影、画像合成、専用撮影機材などを活用して、ポスター作品のデジタル保存を進める。作業の進行は、優先順位や作業負荷、コストを考慮し決定する。

(5) 作品データベースの活用

文化資源デジタルアーカイブ化の動向を踏まえ、DNP文化振興財団コレクション・データベース <https://collection.dnpfcp.jp/> の精緻化と利用の促進をはかる。

2. 展示事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とする優れた作品等の展示活動を行う。展示企画内容により、必要に応じて国内外機関、個人との共同研究等を行い、また、展示施設の管理運営を行う。【定款 第4条(2)、(6)】

ギンザ・グラフィック・ギャラリー(ggg)、京都dddギャラリー(ddd)、CCGA 現代グラフィックアートセンター(CCGA)の3施設で展覧会を開催する。

- ・ 3ページ記載の予定表に従って展覧会を開催する。
- ・ ギンザ・グラフィック・ギャラリーの展覧会開催スケジュールは、年7回開催とし、企画展ごとの効果的な開催期間を検討する。
- ・ 京都dddギャラリーの展覧会開催スケジュールは、年4回開催とし、企画展ごとの効果的な開催期間を検討する。
- ・ CCGA 現代グラフィックアートセンターにおいては、DNP グラフィックデザイン・アーカイブおよびタイラーグラフィックス・アーカイブコレクションによる収蔵品展を年3回開催する。

(1) 令和3年度は、前年(令和2年)に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い延期となった下記の展覧会を開催する。

ggg オリンピック・ランゲージ展: デザインでみるオリンピック展

ggg 葛西薫展

ggg ソール・スタインバーグ展

ddd ヘルムート・シュミット タイポグラフィ: トライ トライ トライ展

ddd 鳥海修個展「もじのうみ: 水のような、空気のような」

(2) ggg企画展のddd巡回

gggで9月～10月に開催予定の「葛西薫展」を、dddに巡回し、11月～12月に開催する。

(4) ggg、dddについては、展覧会挨拶文や解説等を、可能な限り日本語、英語、中国語(簡体字)、韓国語の4か国語対応する。

・ギンザ・グラフィック・ギャラリー展覧会事業（予定）

企画展	会期
第 382 回 TDC2021 展	4/1(木)～5/29(土)
第 383 回 スポーツポスター展(仮)	6/8(火)～7/7(水)
特別展 オリンピック・ランゲージ:デザインでみるオリンピック展	7/20(火)～8/28(土)
第 384 回 葛西薫展	9/8(水)～10/23(土)
第 385 回 日本のアートディレクション展 2021(旧ADC展)	11/1(月)～11/30(火)
第 383 回 ソール・スタインバーグ展 (アメリカ)	12/10(金)～1/29(土)
未定(国内作家)	2/9(水)～3/26(土)

・京都dddギャラリー展覧会事業（予定）

企画展	会期
第 228 回 ヘルムート・シュミット タイポグラフィ:トライ トライ トライ展	4/3(土)～7/10(土)
第 229 回 小島武展 夢ひとつ	7/24(土)～10/23(土)
第 230 回 葛西薫展(ggg より巡回)	11/6(土)～12/18(土)
第 231 回 鳥海修個展「もじのうみ:水のような、空気のような」	1/15(土)～3/19(土)

・CCGA 現代グラフィックアートセンター展覧会事業（予定）

企画展	会期
第 84 回 DNP グラフィックデザイン・アーカイブコレクション展:つながりのデザイン	3/2(火)～6/6(日)
第 85 回 DNP グラフィックデザイン・アーカイブコレクション展:どこか遠くへ グラフィックにみる旅のかたち	6/12(土)～9/5(日)
第 86 回 タイラーグラフィックス・アーカイブコレクション展 Vol.34	9/11(土)～12/26(日)
冬季休館	12/27(月)～2022/2/28(月)
第 87 回 DNP グラフィックデザイン・アーカイブコレクション展	2022/3/1(火)～

egg、dddは入場無料とする。CCGAの入場料は、有料(一般 300 円、学生 200 円)とする。

但し、次の方々は無料とする。—小学生以下と 65 歳以上の方、及び障がい者手帳をお持ちの方、地域の教育関係者(教員、学生)の教育を目的とした団体、オープニングイベント参加者、有料の講演会、映画会等への参加者

3. 教育・普及事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等に関するセミナーの開催、刊行物発行やインターネット等を通じた情報提供等の教育・普及活動の実施。【定款 第4条(4)】
グラフィックに関する知識・関心を、一般の方々に拡げることが目的に、講演会、対談、ワークショップ、図書等の刊行、インターネットを通じた情報提供を行う。

- ・ gggBooks1点、その他図録3点を発行予定。アニュアルレポートは8月に発行予定とする。gggBooks は電子書籍版の発行も継続し、電子図書館での利用を促進する。
- ・ SNS(Twitter、Instagram)公式アカウントを開設し、情報発信を行う。
- ・ ギャラリートークは、出演者の協力を得られる限り、YouTube財団公式チャンネルにおいて動画配信する。
- ・ CCGAでは、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しつつ、可能であれば版画工房でワークショップ、及び一般開放を実施する。

・図書の刊行：

展覧会と連動し、作家の作品集「gggBooks」を1点(発行予定作家：葛西薫)を発行する。

令和元年から開始した「プリモアート(高精細プリント技法)」を利用した展覧会図録を3点(発行予定作家：葛西薫、ソール・スタインバーグ他1名)を発行する。

・アニュアルレポート発行：

「アニュアルレポート2020」を8月に発行する。あわせて翌年度刊行する「アニュアルレポート2021」の企画・編集を開始する。

・ギャラリートーク：

新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しつつ、可能であれば、gggで8回、dddで3回、CCGAで1回開催する。リアルでの開催が不可能な場合は、作家等のトークや展覧会解説の動画をYouTube財団公式チャンネルにおいて配信する。

・ホームページ：

令和2年度に、独自ドメイン化(<https://www.dnpfcp.jp/>)、文字コード多言語対応化(UTF8)、全コンテンツの英語ページ作成を含むリニューアルを実施した。令和3年度は、アクセス数等のデータ分析を行い、より効果的なホームページでの情報発信を推進する。

・オンラインを活用した情報発信：

オンラインを活用した新たな情報発信を検討する。

・版画工房ワークショップ：

CCGA版画工房ワークショップは、6月に(および可能な場合は9月にも)木口木版画講座または銅版画講座を開催予定。

4. 国際交流事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とした国際交流を行う。【定款 第4条(5)】

- ・ 国際交流基金からの協力要請により、ロンドン、パリ、シドニー、トロントの同基金拠点にてスポーツポスター展を巡回開催する予定。
 - ・ ggg、dddでそれぞれ1回、海外作家または外国籍作家の展覧会を開催。関係する大使館・文化センター等の後援を申請する。
 - ・ デザイナーの国際組織である国際グラフィック連盟(AGI)日本事務局のサポートを継続し、海外作家との情報交換を行う。
-
- ・ ヘルムート・シュミット展(4月ddd/スイス)、オリンピック・ランゲージ展(7月ggg/スイス)、ソール・スタインバーグ展(12月ggg/アメリカ)を開催、各国大使館や美術館などとの文化交流を促進する。
 - ・ 例年9月に開催されているAGI総会は、令和3年度はニュージーランドで開催予定だが、新型コロナウイルス感染症の影響で前年にひきつづき中止の可能性が高い。しかし、令和4年度(2022年)に向けた企画準備が進んでいるため、これに積極的に協力してゆく。
 - ・ この他、世界各国作家との交流、およびグラフィックデザイン界の情報収集を行う。

5. 研究助成事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とした芸術文化活動に対する顕彰及び助成。【定款 第4条(7)】

- ・ グラフィックデザイン、グラフィックアートに関わる学術研究に対する助成を行う。また、CCGA(須賀川市)エリアで開催されるグラフィックアートに関連する文化事業に対し、従来から行ってきた協賛を継続する。

・グラフィック文化に関する学術研究助成:

募集テーマ:

A部門 グラフィックデザイン、グラフィックアート全般をテーマとする学術研究

B部門 グラフィック文化に関するアーカイブをテーマとする研究

募集期間: 令和3年4月1日～6月19日まで

助成対象: 研究機関に在籍する研究者・大学院生・学芸員等及びそれに準じる研究能力のある者。

選考: 一次審査(申請書類による書類審査)、二次審査(9月開催予定の審査委員会)により、令和3年度採択研究を10件程度選考する。また、令和2年度採択研究のうち継続助成を希望する研究についても、継続助成の可否を審査(書類審査)する。

スケジュール:

4月	募集開始
6月	応募締め切り
7～8月	一次審査
9月	二次審査
10月	令和3年度審査結果発表
12月	継続助成審査・助成金交付

新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置について:

現在助成期間中の採択研究者について、コロナ禍による研究遂行の大幅な遅れを考慮し、令和2年6月に臨時開催した審査委員会において、下記の通り助成期間延長の特例措置を決定した。

- ・ 令和元年(2018)度採択者(令和3年3月31日満了予定)10名
助成期間を令和3年12月31日まで延長。
- ・ 令和2年(2019)度採択者(令和4年3月31日満了予定)11名
助成期間を令和4年12月31日まで延長。

これに伴い、例年11月に行っていた成果報告会、ならびに研究紀要の発行は、令和3年度は行わず、次年度(令和4年)に延期する。

以上